

令和7年度

学校自己評価のまとめ

千曲市立戸倉上山田中学校

I 学校自己評価の目的

学校自己評価は、戸倉上山田中学校グランドデザインに示された学校の教育目標に基づく教育活動や学校運営の状況について自ら評価し、その結果を公表し共有して『よりよい学校づくり』のために行うものです。これによって、教職員は、教育活動や学校運営の成果と課題を明らかにすることができます。また、保護者や地域の皆様は、学校の目標や教育活動をより深く理解でき、共に学校をつくっていかうとする意識や態度をもつことを目的としています。

II 学校自己評価の方法

1 アンケートによる調査

(1) 職員・生徒の学校生活に関するアンケート

職員と全校生徒を対象に、授業及び学校生活についてのアンケートを行い、日頃の授業や生活について分析しました。

(2) 保護者アンケート

本年度の重点目標にかかわる内容について Google Forms でアンケートを実施しました。回答率は78.6%でした。(昨年度約49%)

2 結果のまとめ方

肯定的か否定的かを明らかにするため、保護者アンケートの選択肢を【1：よい 2：おおむねよい 3：わからない 4：あまりよくない 5：よくない】の5段階にしました（生徒、教職員アンケートは、「わからない」を抜かした4段階）。

III 結果の表示

本まとめに掲載している項目は、注目すべき顕著な結果が表れているものに厳選した抄本です。来年度以降の学校運営に係る内容として改善方向を検討していくべき案を合わせて掲載します。

回答から得たデータを集計した数値を、表とグラフで表示します。表で表している数値とグラフの色は、次のことを表しています。

【職員・生徒】 各設問の数値は、1に近いほどポジティブ、4に近いほどネガティブとして評価 グラフの表示は、 青：1、水色：2、緑：3、赤：4
【保護者】 各設問の数値は、1に近いほどポジティブ、5に近いほどネガティブとして評価 表の表示は、「わからない」を除いた上段が平均数値、下段が「わからない」の割合（%） グラフの表示は、 青：1、水色：2、オレンジ：3、緑：4、赤：5

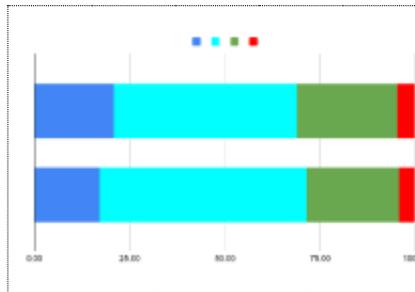
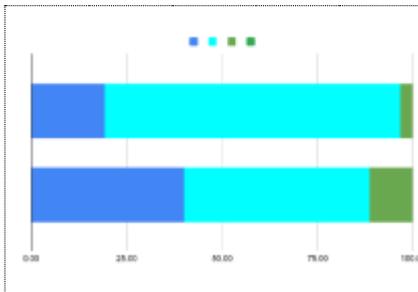
【授業に関する項目】

<職員・生徒>生徒は、毎時間の授業で目標をもち、それを達成するために学習に取り組んでいる。

職%	1	2	3	4
前期	19.4	77.4	3.23	0.00
後期	40.0	48.6	11.4	0.00

生%	1	2	3	4
前期	20.8	48.0	26.5	4.8
後期	17.2	54.4	24.0	4.41

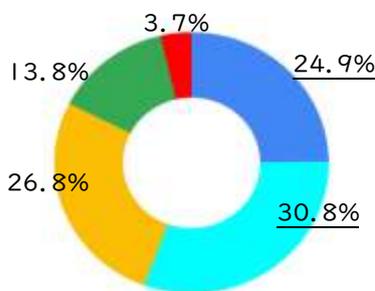
平均	職員	全体	1年	2年	3年
前期	1.8	2.2	2.1	2.2	2.1
後期	1.7	2.2	2.2	2.2	2.1



毎時間の目標（学習課題や Today' s Goal) を提示し、その授業で何を学ぶのかを明確にしてきました。生徒も目標は認識していました。職員は生徒が目標に向かってよく取り組んでいるとみてきましたが、3割の生徒は不十分であると回答しています。
⇒何の目的で、何を目標に学習するのかわかるように研究を進めていきます。

<保護者>

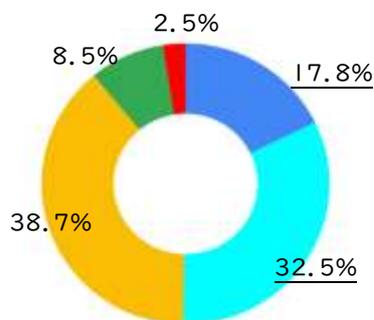
生徒は学習に対して前向きに取り組んでいると感じますか。



全体	1年	2年	3年
2.2	2.2	2.2	2.3
26.8	29.4	26.8	24.4

▲55.7%の保護者は、概ね「学習に前向きに取り組んでいる」と感じています。(R6:83.8% -28.1ポイント)

生徒にとってわかりやすく、考えて学習することができる授業になっていると感じますか。



全体	1年	2年	3年
2.1	2.1	2.2	2.1
38.7	37.0	40.2	39.0

▲50.3%の保護者は、概ね「わかりやすく、考えて学習することができる授業になっている」と感じています。(R6:70.0% -19.7ポイント)

▲38.7%の保護者は、「わからない」と回答。(R6:14.5%)

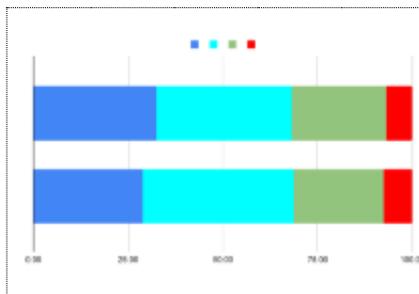
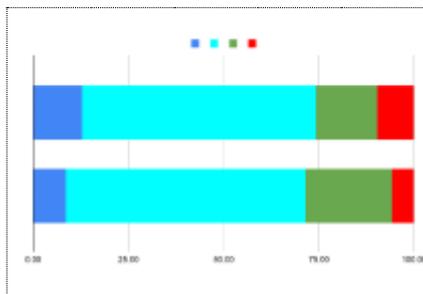
【主体的な学習に関する項目】

<職員・生徒>生徒は、水SPや各教科の家庭学習、生活ノートに積極的に取り組み、提出している。

職%	1	2	3	4
前期	12.9	61.3	16.1	9.7
後期	8.6	62.9	22.9	5.7

生%	1	2	3	4
前期	32.4	35.8	25.1	6.8
後期	28.9	39.7	23.8	7.6

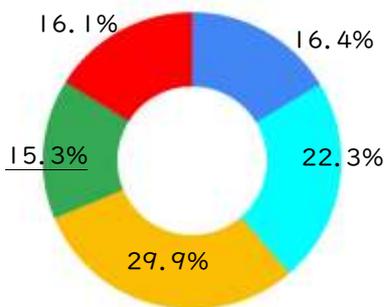
平均	職員	全体	1年	2年	3年
前期	2.2	2.1	1.9	2.1	2.1
後期	2.3	2.1	2.1	2.1	2.1



自立した学習を身につけるために、水SP（水曜日の帰りの学活後の学習時間）や自主学习シートに取り組んできましたが、目的が散在してしまったために、生徒が取り組みづらい結果となりました。
 ⇒それぞれの学習活動の目的を全校生徒が認識できるように、職員も意思統一して取り組んでいきます。

<保護者>

今年度の家庭学習は、各教科の提出日を決めたり、家庭学習シートを週に3枚提出したりするようにしました。お子さんの家庭での取り組みはどうでしたか。

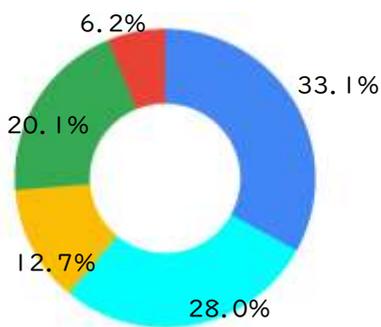


全体	1年	2年	3年
2.89	2.95	2.79	3.09
29.9	34.5	26.8	28.5

- 38.7%の保護者は、概ね「家庭学習シートの取組はよい」と感じている。
- ▲31.4%の保護者は、「あまりよくない」「よくない」と回答。自由記述に「自主性に任せて良いのか」「やらない子は本人の責任で良いのか」などの意見がある。

学校のある平日に、お子さんの家庭での学習時間はどのくらいでしたか。

(青:1時間以上 水色:30分以上 オレンジ:わからない 緑:30分未満 赤:0分)



全体	1年	2年	3年
2.29	1.96	2.54	2.49
12.7	16.8	15.2	6.5

- ▲33.1%の保護者は、「1時間以上家庭している」と回答。(R6:51.9% R5:46.3%が「1時間以上(2時間、3時間、4時間ときざむ)」と回答)
- ▲20.1%の保護者は、「30分未満」、6.2%は「0分」と回答。自由記述に「なかなか家で取り組まない」などの意見がある。(R6:19.4% R5:17.6%が「30分未満」と回答)

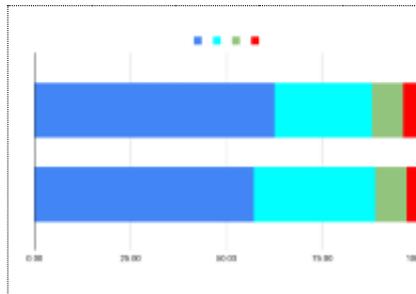
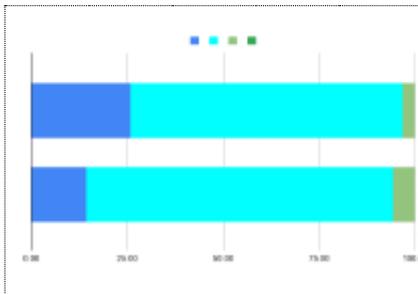
【学校生活に関する項目】

<職員・生徒>生徒は、学校を楽しんでいる。

職%	1	2	3	4
前期	25.8	71.0	3.2	0.00
後期	14.3	80.0	5.7	0.00

生%	1	2	3	4
前期	62.7	25.1	8.1	4.1
後期	57.1	31.6	8.1	3.2

平均	職員	全体	1年	2年	3年
前期	1.8	1.5	1.4	1.6	1.5
後期	1.9	1.6	1.6	1.7	1.4



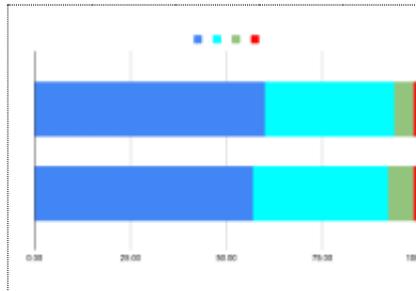
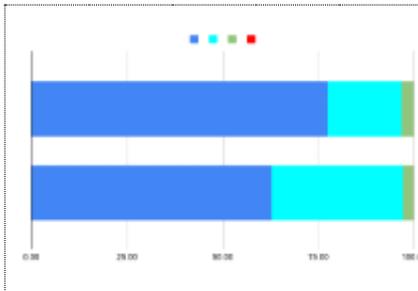
多くの生徒が充実した学校生活を過ごせていると感じているようです。一方で約1割の生徒は楽しいと感ぜられていないことも事実です。
⇒すべての生徒が、誰ひとり取り残されることなく満足できる学校生活を目指し、全職員が生徒の様子に対して敏感になり、迅速な対応がとれるようにしていきます。

<職員・生徒>職員は、生徒やその友達に声をかけたり、話を聞いたりしている。

職%	1	2	3	4
前期	77.4	19.4	3.2	0.00
後期	62.9	34.3	2.9	0.00

生%	1	2	3	4
前期	60.0	33.7	5.2	1.1
後期	56.9	35.3	6.6	1.2

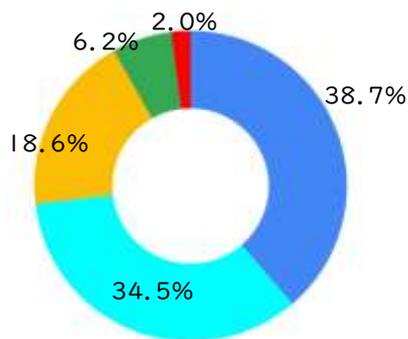
平均	職員	全体	1年	2年	3年
前期	1.3	1.5	1.3	1.5	1.5
後期	1.4	1.5	1.4	1.6	1.3



生徒にとって職員が話を聞いてくれる存在として広く認知されているようです。職員も意識的に多くの生徒に声をかけ、一人ひとりの様子を把握するように努めている結果となりました。
⇒「私の話を聞いてくれない」と悲しい思いをする生徒が出ないように、これからもすべての生徒とのコミュニケーションを大切にしていきます。

<保護者>

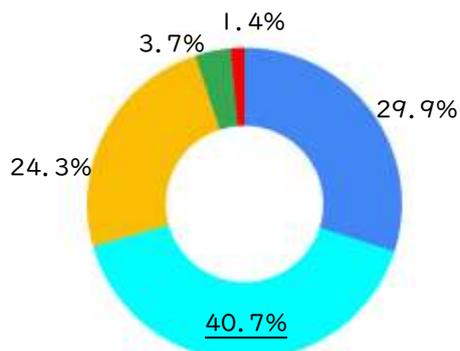
お子さんは、学校を楽しんでいますか。



全体	1年	2年	3年
1.75	1.71	1.91	1.71
18.6	16.0	20.5	19.5

○73.2%の保護者は、概ね「子供は学校を楽しんでいる」と回答。

学校は、生徒が安心して充実した生活が送れるように工夫していると感じますか。



全体	1年	2年	3年
1.76	1.72	1.89	1.73
24.3	25.2	32.1	16.3

○70.6%の保護者は、概ね「生徒が安心して充実した生活が送れるよう工夫されている」と感じている。

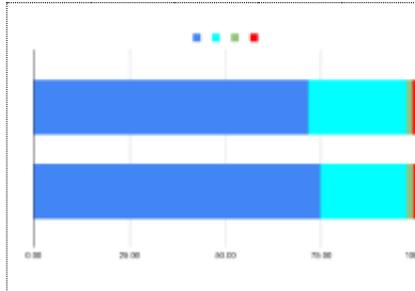
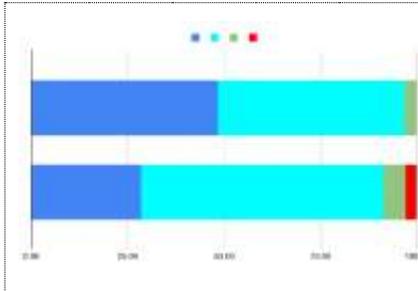
【きまりに関する項目】

<職員・生徒>生徒は、服装や体育館使用などの学校で決められたきまりを守っている。

職%	1	2	3	4
前期	48.4	48.4	3.2	0.0
後期	28.6	62.9	5.7	2.9

生%	1	2	3	4
前期	71.7	25.6	1.9	1.1
後期	74.8	22.6	1.7	1.0

平均	職員	全体	1年	2年	3年
前期	1.6	1.3	1.2	1.4	1.3
後期	1.8	1.3	1.3	1.4	1.2



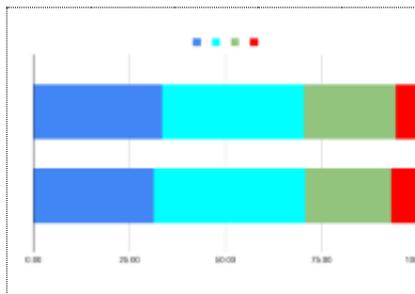
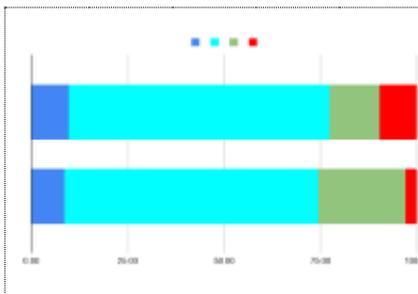
学校のきまりを守って生活していると感じている生徒が非常に多いです。きまりを守れずにいる生徒がクローズアップされてしまいますが、職員は、全体として落ち着いた雰囲気であることを評価していく必要があります。⇒今後もこういった全体の様子を維持するとともに、生徒が落ち着いた生活を送る環境を整えていきます。

<職員・生徒>生徒は、家庭学習以外の提出物を決められた期限までに提出している。

職%	1	2	3	4
前期	9.7	67.8	12.9	9.7
後期	8.8	65.7	22.9	2.7

生%	1	2	3	4
前期	33.5	36.9	24.0	5.7
後期	31.4	39.5	22.3	6.9

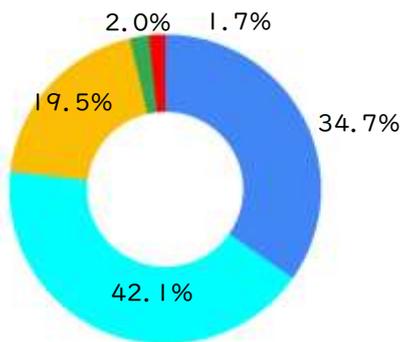
平均	職員	全体	1年	2年	3年
前期	2.2	2.0	1.9	2.1	2.0
後期	2.2	2.1	2.0	2.2	1.9



通知表や保健書類、懇談会の日程調査など、家庭学習に係わらない提出物について、職員も生徒もネガティブに捉えています。⇒提出期限を板書で明示することや、学活で口頭伝達するを強化していきます。重要な書類は確実に提出していただきたいので、ご家庭の協力もよろしくお願いいたします。

<保護者>

生徒は、学校のきまりを守って生活していると感じますか。



全体	1年	2年	3年
1.68	1.65	1.72	1.71
19.5	16.8	24.1	17.9

- 76.8%の保護者は、概ね「生徒は学校の決まりを守って生活している」と感じている。
- ▲自由記述に、「カラオケの利用」「制服」について、いくつか意見が寄せられている。

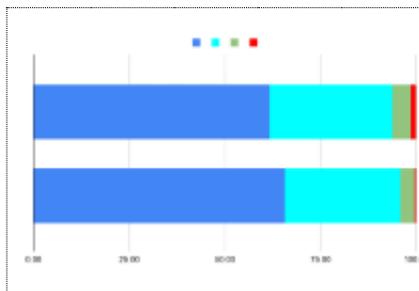
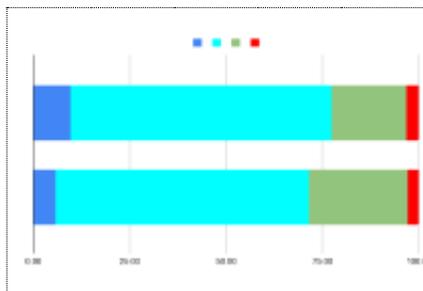
【交通安全に関する項目】

<職員・生徒>生徒は、交通ルールを守って安全な登下校をしている。

職%	1	2	3	4
前期	9.7	67.7	19.4	3.2
後期	5.7	65.7	25.7	2.9

生%	1	2	3	4
前期	61.8	31.9	4.8	1.6
後期	65.7	30.2	3.9	0.5

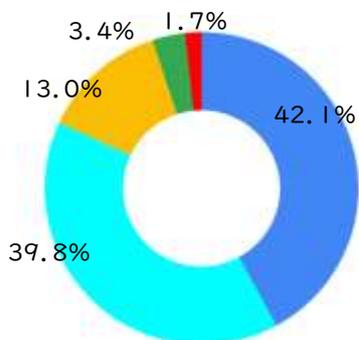
平均	職員	全体	1年	2年	3年
前期	2.2	1.5	1.3	1.6	1.5
後期	2.3	1.4	1.4	1.4	1.3



職員と生徒の認識に大きな違いがあります。運転免許をもつ大人の視点から見ると、交通ルールの認知は十分ではないという考えがあるのではないのでしょうか。
⇒歩行や自転車の運転に関するルールを、学校や家庭で教育することを強化する必要があるように思われます。

<保護者>

生徒は、交通ルールを守って安全に登下校していますか。



全体	1年	2年	3年
1.65	1.82	1.60	1.60
13.0	9.2	20.5	9.8

○81.9%の保護者は、概ね「交通ルールを守って安全に登下校している」と回答。

▲自由記述に、「自転車の並走」「ヘルメットの顎紐をしめていない」などの意見がいくつか寄せられている。

【自由記述から】

<学習の意義、伝え方に関すること>

- 勉強をする意味が、テストで良い点を取る為や、志望校に合格する為と、通信や講和などで度々繰り返される事が気になります。
- 授業参観に行ってもパソコンを使う授業だと参観する必要を感じない。

⇒ 1時間の授業で何を目標に何を学ぶのかわかるよう、本時の「学習課題」「学習問題」「本時のゴール」を明示するなど、改善してまいります。

- 先生に聞きづらい。先生達はいつも忙しそうだからどこに居るかもわからないといった子どもの声を聞きます。学校での勉強で感じている不安や違和感、困りごとなどを発信できない状況が、「聞いてもいいんだ」「発信してもいいんだ」という安心できる環境に変わって欲しいと思います。

⇒ 子どもたちが、安心して授業を受けることができる環境を作る、いつでも相談できる環境を作るようつとめてまいります。

<自主学習の在り方に関すること>

- 家庭学習シートは個人差があると思います。自主学習が望ましいのは分かりますが、ある程度課題を出してもらったほうが、毎日の習慣になると思うのです。
- ワークや提出ノートをすることで精一杯で、家庭学習シートには手が回っていないようです。

⇒ 家庭学習シートについては、生徒の取組につながるシートのあり方を検討してまいります。

<登下校の安全に関すること>

- 狭い道などで自転車の並列走行が気になる、ヘルメットの顎ひもをとめずにいる生徒を多数見かけるので危ないと思います。

⇒ 千曲警察署交通安全課の交通安全教室や、講話などをお願いし、教職員も街頭指導するなど繰り返し指導してまいります。保護者、地域の方もお気づきのことがありましたら、是非学校にお知らせください。

<地域クラブ移行に関すること>

- 文化部の発表の場などできるだけ残してほしいです。
- 次年度から様々な大会参加の生徒の壮行会が無くなる…と聞きました。校内だけでもいいので会を設けていただきたいです。

⇒ 地域クラブに移行していきますが、壮行会のあり方や発表の場について現在、検討しております。プライドファイブのひとつである「日本一の応援」をどのように継続させるか、生徒と考えているところです。

多くの皆様から、さまざまなご意見をお寄せいただきありがとうございました。今後も生徒の学びや安心・安全な学校となるよう、保護者の皆様、地域の皆様との連携を図り、さらに自立した生徒につながる学校づくりをすすめてまいります。

今後ともお気づきのことがありましたら、学校にお知らせください。